

洞爺湖町国民健康保険加入者の医療費の状況

平成24年6月請求分レセプト分析の結果、国保加入者の医療費の状況は次のとおりとなっています。



生活習慣病

1カ月の受診者数のうち61.7%を占めており、男性の方の割合が高く、特に男性の40歳代からの増加が目立ちます。

糖尿病

1カ月の受診者数のうち27.5%を占めており、男性の方の割合が高く、年齢が高くなるごとに割合が高くなる傾向にあります。

高血圧

1カ月の受診者数のうち40.6%を占めており、男性の方の割合が高く、年齢が高くなるごとに割合が高くなる傾向にあり、特に60歳代からの増加が目立ちます。

脂質異常症

1カ月の受診者数のうち30.0%を占めており、女性の方の割合が高く、年齢が高くなるごとに割合が高くなる傾向にあります。

虚血性心疾患

1カ月の受診者数のうち11.3%を占めており、男性の方の割合が高く、40歳代以上で割合が高くなる傾向にあります。

脳梗塞・脳出血

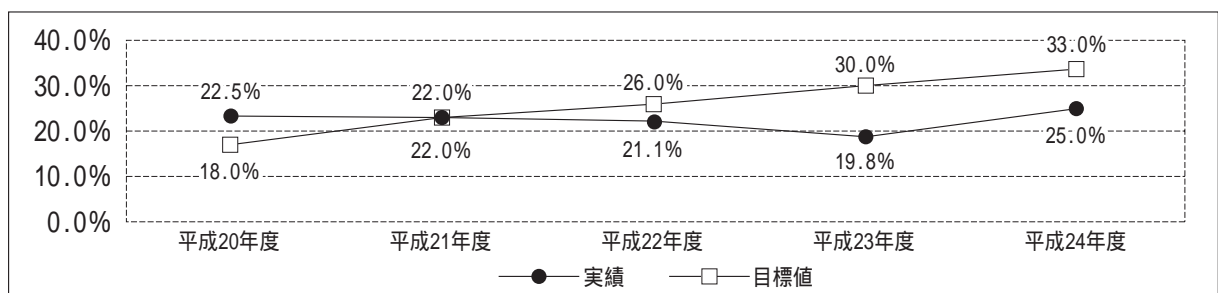
1カ月の受診者数のうち8.5%を占めており、男性の方の割合が高く、年齢が高くなるごとに割合が高くなる傾向にあります。

人工透析

1カ月の受診者数のうち0.7%を占めており、男性の方の割合が高く、40歳代以上の男性で割合が高くなっています。

特定健康診査の受診率

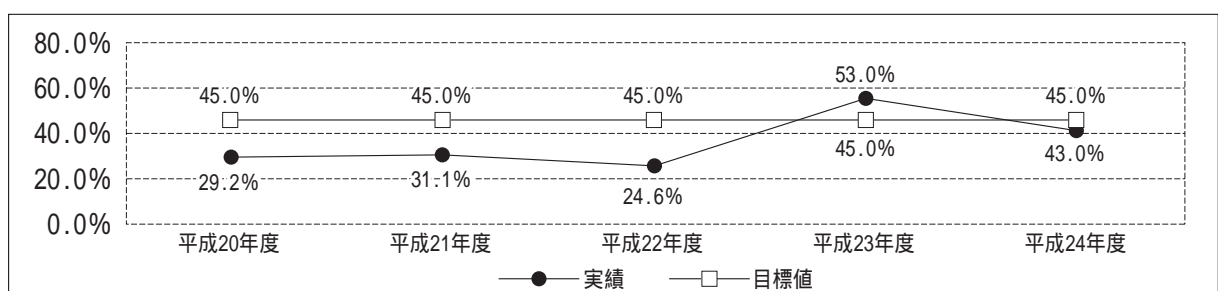
特定健康診査の受診率は平成20年度から平成23年度まで減少傾向にありましたが、平成24年度は増加する見込みとなっています。前回計画時の目標値と比較すると、平成20年度は目標値を上回っていましたが、平成22年度以降は目標値を下回っています。



実績の平成24年度数値は見込値である。

特定保健指導の実施率

特定保健指導の実施率は、平成22年度に減少していますが、平成23年度以降は増加傾向に転じています。前回計画時の目標値と比較すると、年度にばらつきはあるものの概ね目標値を下回っています。



実績の平成24年度数値は見込値である。